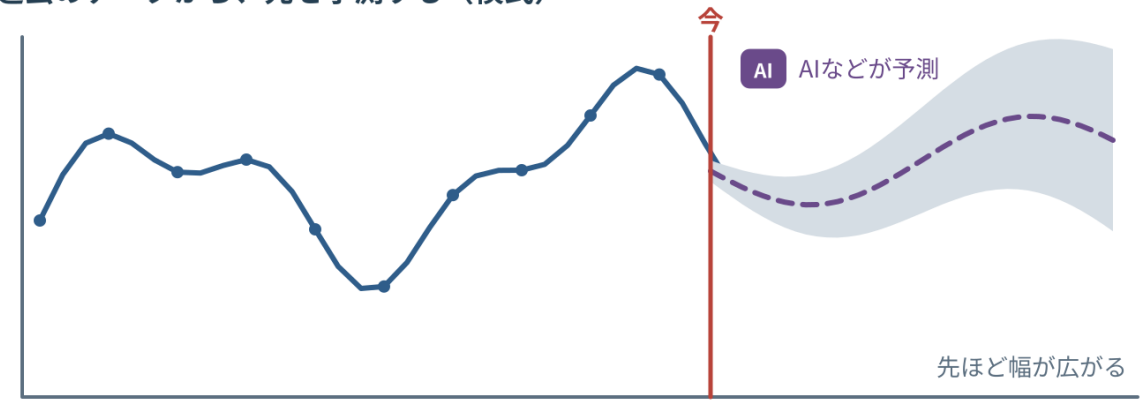
予測するAI（天気・混雑・売れ行き・災害）

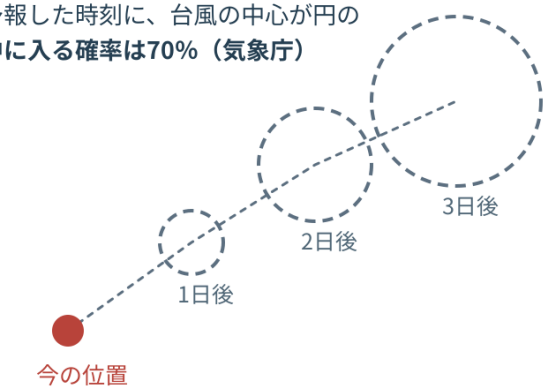
AIは、どのように先のことを予測するのだろう。予測は必ず当たるのだろうか

過去のデータから、先を予測する（模式）



予測の幅の例：台風の予報円

予報した時刻に、台風の中心が円の**中に入る確率は70%（気象庁）**



先ほど円が大きい（模式）

予測するAIの使い道（例）

天気	気温や雨の予報
混雑	駅や道路の混み具合
売れ行き	お店の仕入れの量
災害	大雨や川の水位の危険

気をつけること

予測は外れることがある

1つの値だけでなく、
幅（不確かさ）も見る

条件が変わると外れやすい

過去のデータと条件が大きく
ちがうときは、とくに注意

どう動くかは人が判断する

予測を見て、備えや行動を
人が決める

※ グラフは模式で、データは架空。予報円の説明は、気象庁の台風情報の説明による。